

大学生の時間志向と SNSの使用状況に関する調査

チーム野郎

兼松浩之

奥山新斗

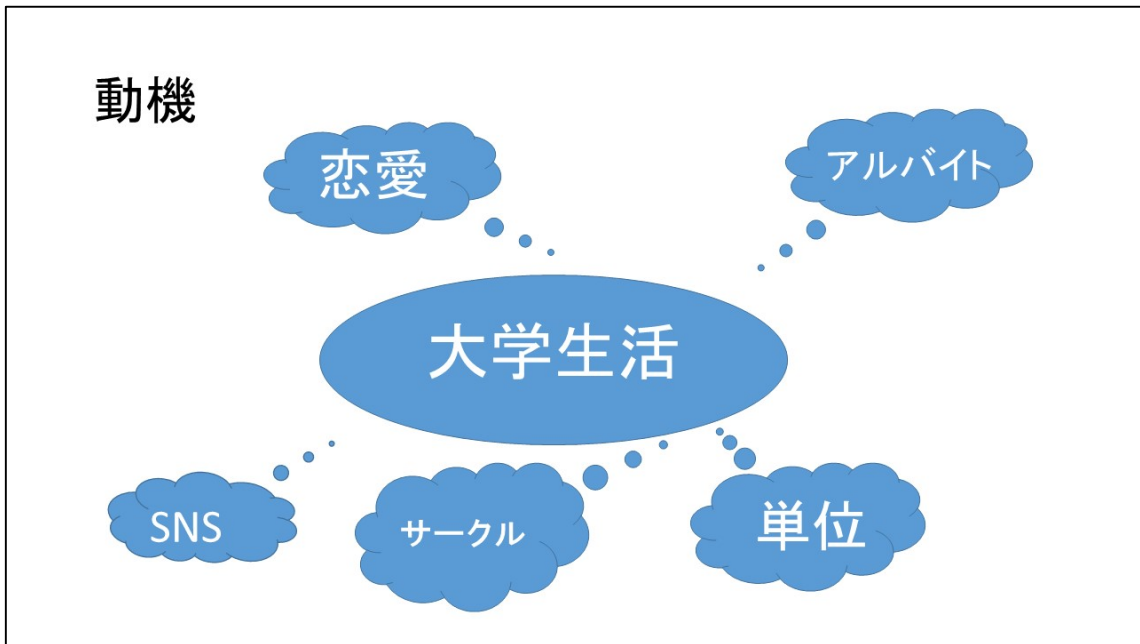
長池礼

堀川優弥

今回私達はフィリップ・ジンバルドによって提唱された時間志向という尺度を用いて大学生にとって身近な存在である SNS の使用状況との関連性を調査しました。

目次

- 動機
- 仮説
- 研究の手順
- 研究結果と結論、考察
- 反省



大学生活と密接に繋がっているものは上記のようにたくさんありますが今回私達は SNS の利用に焦点を当てて研究を進めました。

動機

- 大学生活だけではなく、もはや日常生活にも欠かせないものとなっているSNSだが、“時間を無駄にした”という話をよく聞く...
- だがしかし、有効的にSNSを活用し日常生活をより楽しんでいるひともいる
- どうすればうまくSNSと付き合いっていくことができるのか...



時間志向とSNS利用に関する**傾向**及び**満足度**の関係性に着目

現在多くの大学生が SNS を利用しているが、SNS の利用に対して時間を無駄にしたと感じる人がいる一方で SNS を有効的に活用している人も存在する。私達はそのような SNS 利用に対する傾向や満足度の差に時間志向が関わっているのではないかと考え、調査を行いました。

仮説

- 時間志向によって、同じSNSでも利用目的や投稿内容に差異が生じているのではないか？
- 未来、過去肯定志向は全体的にSNSの使用満足度が高いのではないか？
- 過去否定、現在宿命志向は全体的にSNSの使用満足度が低いのではないか？

前ページの動機に加え、未来志向や過去肯定志向は比較的ポジティブに物事を考える時間志向であるため SNS 利用に対しても満足度が高いのではないかと考え、また過去否定志向や現在宿命論志向はネガティブに物事を考える傾向にあるため SNS 利用に対する満足度も低いのではないかと考え上記のような仮説に至りました。

研究の手順

1. アンケート結果を時間志向ごとに分類する(メイン時間志向を設定)
2. 各々の問いに対しての回答の平均値を集計する
3. 時間志向ごとでSNSの使用状況に差が出るかどうか調べる
4. 使用傾向のどの部分が満足度に影響を及ぼしているかを調べる
5. 結果が得られた部分について相関関係を調べ、得られた結果の補足をする

研究の手順としては上記の流れで行いました。相関分析には **SPSS** という統計分析ソフトを利用して、手順 4 で得られた結果の補足として利用しました。

研究結果と結論

未来志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	87%	66%	40%
一日の利用時間の平均	1.4時間	0.4時間	0.4時間
フォロー数(友達)	350人	191人	129人
投稿頻度の平均	1日に2.3回	20日に1回	2日に1回

未来志向の SNS 利用に対するアンケート結果です。以下現在快樂志向、過去肯定志向、過去否定志向、現在宿命志向に関しても同様のアンケートを取り、結果を載せています。

現在快樂志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	94%	62%	49%
一日の利用時間の平均	1.54時間	0.44時間	0.92時間
フォロー数(友達)	333人	223人	189人
投稿頻度の平均	1日に3.26回	100日に1回	3日に1回

過去肯定志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	85%	62%	45%
一日の利用時間の平均	1.42時間	0.34時間	0.5時間
フォロー数(友達)	298人	148人	171人
投稿頻度の平均	1日に4.8回	10日に1回	6日に1回

過去否定志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	90%	62%	41%
一日の利用時間の平均	1.56時間	0.4時間	0.74時間
フォロー数(友達)	207人	143人	137人
投稿頻度の平均	1日に4.44回	100日に1回	6日に1回

現在宿命志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	81%	36%	31%
一日の利用時間の平均	1時間	0.34時間	0.8時間
フォロー数(友達)	207人	156人	103人
投稿頻度の平均	1日に3回	50日に1回	6日に1回

Q5(SNSの使用目的)の項目選択率

未来志向

1	0.153846	0.101695	0.25
2	0.833333	0.457627	0.416667
3	0.358974	0.254237	0.166667
4	0.141026	0.016949	0
5	0.166667	0.254237	0.388889
6	0.217949	0.220339	0.027778
7	0.205128	0.338983	0.166667
8	0.653846	0.338983	0.583333
9	0	0	0.166667
10	0.153846	0.355932	0.083333
11	0	0	0.027778

現在快楽

1	0.320388	0.235294	0.377358
2	0.76699	0.632353	0.566038
3	0.436893	0.294118	0.320755
4	0.213592	0.029412	0.09434
5	0.135922	0.205882	0.396226
6	0.417476	0.264706	0.056604
7	0.300971	0.235294	0.301887
8	0.757282	0.338235	0.54717
9	0.067961	0.014706	0.245283
10	0.223301	0.294118	0.188679
11	0	0.014706	0

過去肯定

1	0.218391	0.174603	0.217391
2	0.781609	0.539683	0.565217
3	0.402299	0.269841	0.195652
4	0.149425	0.015873	0.043478
5	0.183908	0.269841	0.217391
6	0.264368	0.301587	0.195652
7	0.229885	0.238095	0.152174
8	0.689655	0.269841	0.369565
9	0.068966	0.015873	0.152174
10	0.218391	0.269841	0.086957
11	0.011494	0.015873	0.021739

過去否定

1	0.22807	0.102564	0.192308
2	0.807018	0.538462	0.461538
3	0.421053	0.102564	0.192308
4	0.315789	0	0.038462
5	0.192982	0.153846	0.192308
6	0.333333	0.230769	0
7	0.280702	0.205128	0.307692
8	0.701754	0.333333	0.423077
9	0.070175	0.025641	0.153846
10	0.157895	0.205128	0.038462
11	0.017544	0	0

現在宿命

1	0.153846	0	0
2	0.692308	0.5	0.6
3	0.307692	0.166667	0.6
4	0.384615	0	0
5	0.153846	0	0.2
6	0.384615	0	0.2
7	0.153846	0.166667	0.2
8	0.769231	0.5	0.4
9	0.153846	0	0.2
10	0.230769	0	0.2
11	0	0	0

アンケート問5における時間志向ごとの項目選択率です。選択肢内容は以下の通りです。

1. 情報を発信するため
2. 情報を集めるため
3. 情報を共有するため
4. ストレスを発散するため
5. 記録媒体として（後々見返せるように）
6. 他の人と連絡を取るため
7. 近況報告するため
8. 暇つぶし
9. 「いいね」をもらうため
10. つながりを増やすため
11. その他

赤に近づくほど選択割合が高くなり、青に近づくほど選択割合が低くなっています。

Q6(投稿内容の傾向)の項目選択率

未来

1	0.615385	0.186441	0.416667
2	0.397436	0.288136	0.166667
3	0.602564	0.169492	0.611111
4	0.128205	0.016949	0
5	0.051282	0.033898	0
6	0.076923	0.050847	0.111111
7	0.320513	0.542373	0.416667
8	0.153846	0.169492	0
9	0.307692	0.033898	0
10	0.115385	0	0
11	0	0.016949	0.027778

現在快樂

1	0.757282	0.308824	0.396226
2	0.446602	0.176471	0.245283
3	0.524272	0.147059	0.566038
4	0.194175	0.014706	0.037736
5	0.07767	0.014706	0.056604
6	0.106796	0	0.150943
7	0.213592	0.573529	0.283019
8	0.15534	0.073529	0.09434
9	0.398058	0.014706	0.075472
10	0.184466	0.029412	0.018868
11	0	0	0

過去肯定

1	0.689655	0.222222	0.217391
2	0.37931	0.126984	0.152174
3	0.471264	0.238095	0.565217
4	0.183908	0	0
5	0.08046	0.031746	0
6	0.114943	0.063492	0.065217
7	0.310345	0.507937	0.326087
8	0.206897	0.095238	0.021739
9	0.482759	0.015873	0
10	0.091954	0	0
11	0.022989	0.015873	0.021739

過去否定

1	0.701754	0.230769	0.192308
2	0.473684	0.128205	0.076923
3	0.473684	0.128205	0.538462
4	0.157895	0	0.038462
5	0.087719	0.025641	0.038462
6	0.105263	0.025641	0.115385
7	0.280702	0.410256	0.269231
8	0.175439	0.153846	0
9	0.368421	0	0.076923
10	0.192982	0	0
11	0	0.051282	0

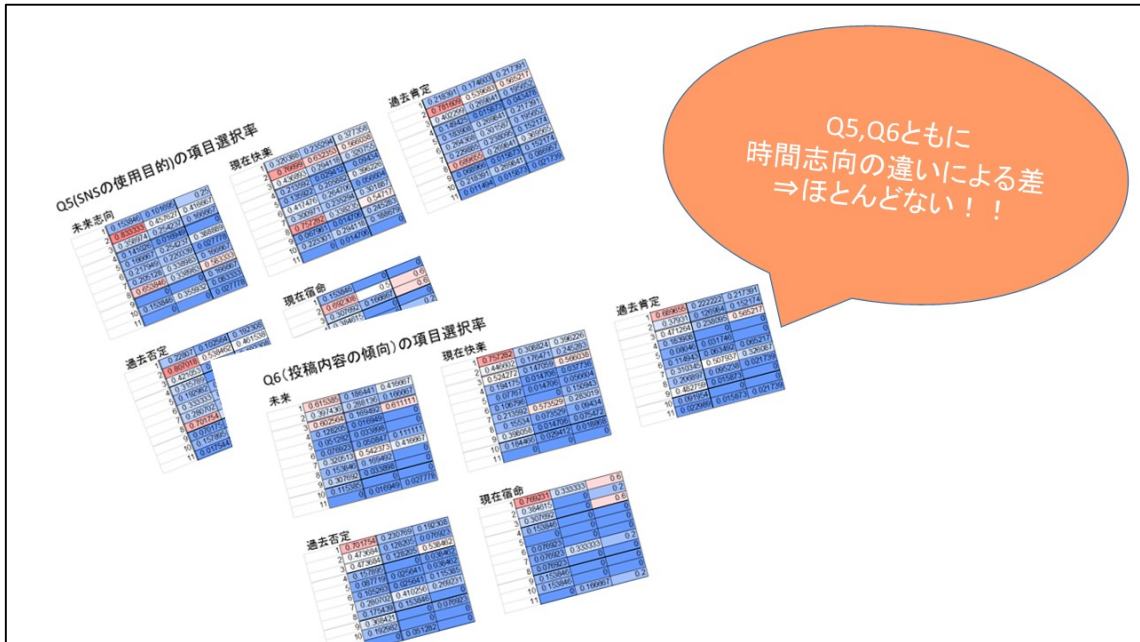
現在宿命

1	0.769231	0.333333	0.6
2	0.384615	0	0.2
3	0.307692	0	0.6
4	0.153846	0	0
5	0	0	0
6	0.076923	0	0
7	0.076923	0.333333	0.2
8	0.076923	0	0
9	0.153846	0	0
10	0.153846	0	0
11	0	0.166667	0.2

アンケート問6における時間志向ごとの項目選択率です。選択肢内容は以下の通りです。

1. 面白いと感じたこと
2. 興味深かったこと
3. 楽しかったこと
4. 自分が失敗したこと
5. 自己啓発
6. 自慢
7. 近況報告
8. タメになる情報
9. 今の気持ち（寒い、眠い 等々）
10. 不満に思ったこと
11. その他

問5と同様に赤に近づくほど選択率が高くなり、青に近づくほど選択率が低くなっています。



これらのデータを踏まえた結果、時間志向の違いによる使用目的や投稿内容に差はほとんどありませんでした。つまり時間志向と使用目的や投稿内容には相関がなかったという結論に至りました。

5つの時間志向の集計結果

SNSの使用目的や投稿内容には時間志向ごとに差があったのか??

 なし!

使用目的:情報発信・情報収集・近況報告・暇つぶし がほとんど

投稿内容:面白いこと、興味深い事、楽しかった事、近況報告
がほとんど

集計の結果、時間志向ごとの使用目的や投稿内容に差はなく、どの時間志向も上記のような傾向であることがわかりました。

5つの時間志向の集計結果

①Twitterに関しては未来志向が投稿数が少ないのに対して、過去否定、過去肯定志向は投稿数が多い。

②Facebookに関しては未来志向、過去肯定志向が他の3つの時間志向に比べて投稿頻度が多い。

③Instagramに関しては過去否定、現在宿命、現在快樂志向が他の2つの時間志向に対して1日の使用時間が長い。

使用目的や投稿内容に関しては差が見られませんでした。それぞれのSNSの投稿頻度や使用時間については上記のような差が見られました。

SNSの使用と「満足度」との関係

- “SNS使用後に、時間を無駄にしたと感じたことがあるか ”
という問をアンケートに設定
- 時間を無駄にしたか否かを1から5の数字により選択してもらう
(1:全くそう思わない~5:いつもそう思う)
- 上の結果から、(1:満足度が高い~5:満足度が低い)と定義

満足度を聞く質問は回答者が答えやすくなるよう言い方を変えた為、1に近づくほど満足度が高いという事になります。

5つの時間志向の集計結果

①Twitterに関しては未来志向が投稿数が少ないのに対して、過去否定、過去肯定志向は投稿数が多い。

②Facebookに関しては未来志向、過去肯定志向が他の3つの時間志向に比べて投稿頻度が多い。

③Instagramに関しては過去否定、現在宿命、現在快樂志向が他の2つの時間志向に対して1日の使用時間が長い。

まずは①についてそれぞれのデータを比較しながら説明していきます。

未来志向 → Twitterの投稿数が少ない

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	87%	66%	40%
一日の利用時間の平均	1.4時間	0.4時間	0.4時間
フォロー数(友達)	350人	191人	129人
投稿頻度の平均	1日に2.3回	20日に1回	2日に1回


未来志向は1日に2.3回Twitterで投稿しています。

過去志向 → Twitterの投稿数が多い

過去肯定志向				過去否定志向			
	Twitter	Facebook	Instagram		Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	85%	6%	45%	利用割合	90%	62%	41%
1日の利用時間の平均	1.42時間	0.34時間	0.5時間	1日の利用時間の平均	1.56時間	0.4時間	0.74時間
フォロー数(友達)	298人	148人	171人	フォロー数(友達)	207人	143人	137人
投稿頻度の平均	1日に4.8回	10日に1回	6日に1回	投稿頻度の平均	1日に4.4回	100日に1回	6日に1回

過去肯定志向は1日に4.8回、過去否定志向は1日に4.4回 Twitterで投稿しており、未来志向よりも多くなっていることがわかります。

Twitter

- 投稿数の多さによって満足度に差は出るのか？  出ない
(ex.未来3.05過去肯定2.91過去否定2.89現在快樂3.01現在宿命3.21)
- 前述のように投稿内容や使用目的も、全時間志向においてほとんど同じ

Twitter においては時間志向ごとに投稿数では差が出ましたが、投稿数の多さによって満足度で差が生じることはありませんでした。

Twitter

時間志向や使用方法で満足度に差が出ない



時間志向以外の他の要因が満足度に
影響を与えているのでは？

前ページの結果からもわかるように時間志向や Twitter の使用方法と満足度の間は関係がなかったため時間志向以外の何かが満足度に影響を与えているのではないかという結論に至りました。

5つの時間志向の集計結果

①Twitterに関しては未来志向が投稿数が少ないのに対して、過去否定、過去肯定志向は投稿数が多い。

②Facebookに関しては未来志向、過去肯定志向が他の3つの時間志向に比べて投稿頻度が多い。

③Instagramに関しては過去否定、現在宿命、現在快樂志向が他の2つの時間志向に対して1日の使用時間が長い。

②についても①と同様にアンケート結果のデータを用いて説明していきたいと思います。

過去肯定、未来志向 → Facebookの投稿頻度が多い

過去肯定志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	85%	62%	45%
一日の利用時間の平均	1.42時間	0.34時間	0.5時間
フォロー数(友達)	298人	148人	171人
投稿頻度の平均	1日に4.8回	10日に1回	6日に1回

未来志向

	Twitter	Facebook	Instagram
利用割合	87%	66%	40%
1日の利用時間の平均	1.4時間	0.4時間	0.4時間
フォロー数(友達)	350人	191人	129人
投稿頻度の平均	1日に2.3回	20日に1回	2日に1回

過去否定:100日に一回 現在宿命:50日に一回 現在快樂:100日に一回

図からわかるように、他の時間志向に比べて過去肯定志向と未来志向の Facebook での投稿頻度が多くなっています。

Facebook

- 前述したように、使用目的や投稿内容は全時間志向についてほとんど同じ

主な投稿内容: 面白いこと、興味深い事、楽しかった事、近況報告

- つまり投稿頻度の多さによって満足度に影響が出る！

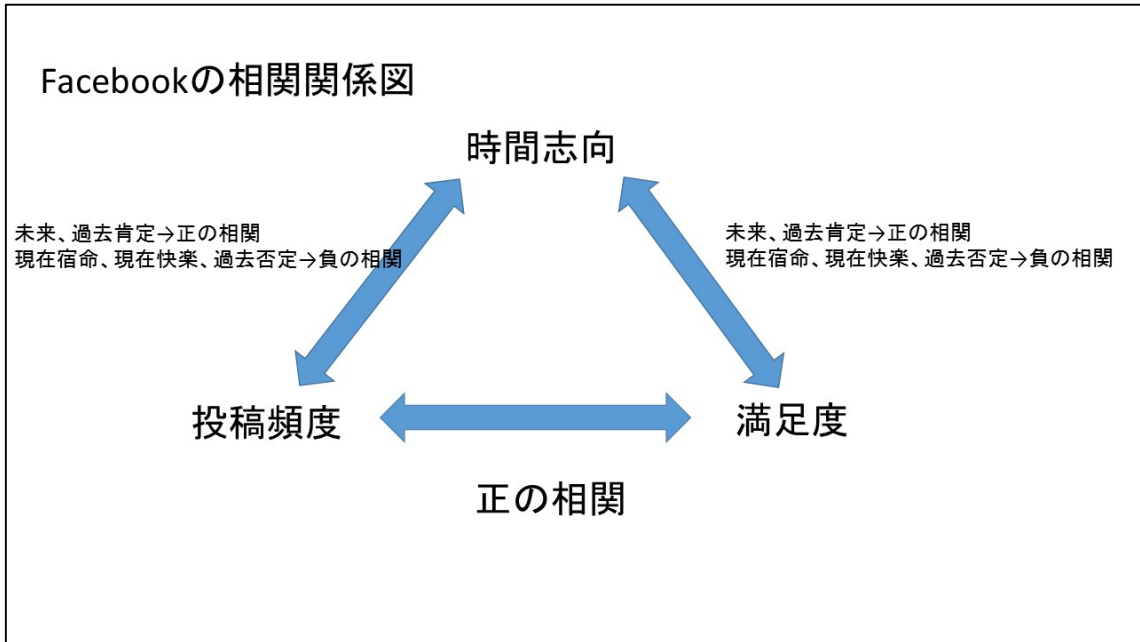
(未来2.23過去肯定2.26過去否定2.46現在快樂2.60現在宿命3.00)

全 SNS の使用目的や投稿内容に関しては差が見られないにも関わらず、Facebook の未来志向と過去肯定志向においては投稿頻度と満足度の 2 つは差が見られるという結果が出ました。つまり投稿頻度の多さが満足度に影響を与えているという結論に至りました。

Facebook

未来志向や過去肯定志向の人に見られる
ものごとをポジティブにとらえるという特徴が投稿回数を増やし、
それが高い満足度につながるのかも？

なぜ投稿頻度の多さが満足度に影響を与えるのかという疑問について私達は対象となる時間志向の特徴に着目しました。未来志向や過去肯定志向は他の時間志向に比べて物事をポジティブに捉える特徴がある為、日常の出来事をポジティブに捉えることが多く、そのポジティブなことを **Facebook** で投稿するので投稿回数が多くなり結果として高い満足度に繋がるという結論になりました。



相関分析の結果 Facebook において未来志向と過去肯定志向と投稿頻度や満足度には正の相関があるということがわかりました。これは未来志向や過去肯定の度合いが強くなる（各時間志向の数値が5に近づく）程、投稿頻度が多くなり満足度が高くなるという事を表しています。また、投稿頻度と満足度に関しても正の相関があったため、投稿頻度が多くなればなるほど満足度が高くなるという結果が導き出されました。

5つの時間志向の集計結果

①Twitterに関しては未来志向が投稿数が少ないのに対して、過去否定、過去肯定志向は投稿数が多い。

②Facebookに関しては未来志向、過去肯定志向が他の3つの時間志向に比べて投稿頻度が多い。

③Instagramに関しては過去否定、現在宿命、現在快樂志向が他の2つの時間志向に対して1日の使用時間が長い。

③もアンケートのデータを用いて説明していきたいと思います。

現在快樂・現在宿命・過去否定 → Instagramの利用時間が長い

現在快樂		現在宿命		過去否定	
	Instagram		Instagram		Instagram
利用割合	49%	利用割合	31%	利用割合	41%
1日の利用時間の平均	0.92時間	1日の利用時間の平均	0.8時間	1日の利用時間の平均	0.74時間
フォロー数	189人	フォロー数	103人	フォロー数	137人
投稿頻度の平均	3日に1回	投稿頻度の平均	6日に1回	投稿頻度の平均	6日に1回

未来志向: 0.4時間/日 過去肯定: 0.5時間/日

図からもわかるように Instagram における現在快樂、現在宿命、過去否定志向の1日の利用時間は他の2つの時間志向に比べて多くなっています。

Instagram

- 前述したように、使用目的や投稿内容は全時間志向についてほとんど同じ
主な投稿内容: 面白いこと、興味深い事、楽しかった事、近況報告

- ということは使用時間の長さで満足度に関係性がある？

(未来2.61過去肯定2.43過去否定2.13現在快樂2.04現在宿命2.17)

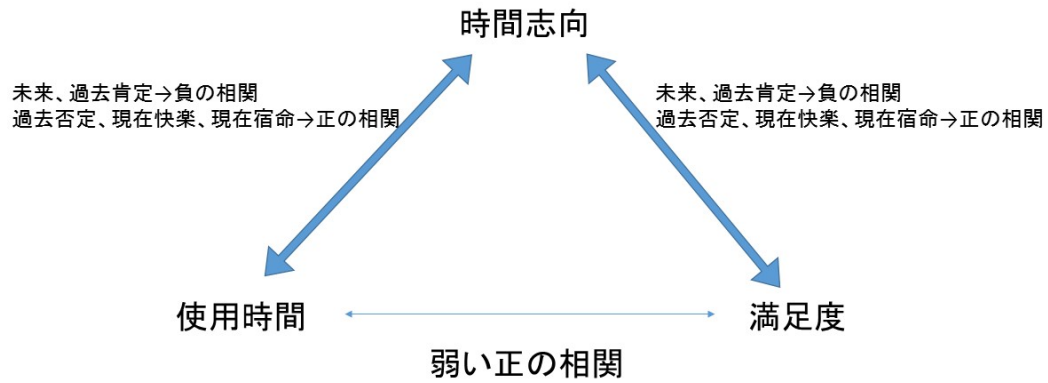
Instagram においては使用目的や投稿内容に関しては差が見られないにも関わらず、使用時間の長さで満足度の2つは差が見られるという結果が出ました。つまり使用時間の長さで満足度の間に関係性があると考えられます。

Instagram

現在快樂、現在宿命、過去否定など比較的マイナスの方面の時間志向は、羨望やあこがれから他人のInstagramの投稿を見て楽しむから、満足度が高いのかも？

なぜ Instagram において現在快樂、現在宿命、過去否定志向の使用時間と満足度が他の時間志向に比べて長くなったのかについてもそれぞれの時間志向の特徴から推測しました。現在快樂、現在宿命、過去否定志向は他の時間志向に比べてマイナス面を持っているため、他の人の投稿に対し憧れや羨望の気持ちをもって Instagram を利用するため、他の時間志向に比べて使用時間が長く満足度が高くなるという結論に至りました。

Instagramにおける相関関係図



Instagram においては過去否定、現在快樂、現在宿命志向と使用時間及び満足度には正の相関があることがわかりました。つまり過去否定、現在快樂、現在宿命志向の度合いが強くなる（各時間志向の数値が5に近づく）程、使用時間が長くなり満足度が高くなるという結果が得られました。

結論

〇〇志向だから満足度が高いというわけではなく、各SNSにはそれぞれ適した使い方があり、それをうまく使いこなす時間志向が満足度を高めているのではないか？

どの SNS においても満足度が高くなるような時間志向は存在せず、それぞれの SNS について適切な使い方をできる、つまり自分のスタイルに合った SNS を利用した際に満足度が高くなるのではないかという結論に至りました。

結論

- 未来、過去肯定志向は~~全体的に~~部分的にSNSの使用満足度が高いのではありませんか？ {低い}
- 過去否定、現在宿命志向は~~全体的に~~部分的にSNSの使用満足度が低いのではないかと？ {高い}

仮説と違い未来志向や過去肯定志向のようなポジティブな時間志向でも使用満足度が低くなることもあり、過去否定志向や現在宿命志向のようなネガティブな時間志向でも使用満足度が高くなる場合があるという結論が得られました。これは時間志向が SNS 利用の満足度にそれほど影響を与えていないことを表しています。

以上で終わりです。

ご覧いただきありがとうございました。